患者さんの不安を取り除くため できる全てのことを

Doctor interview

内科

山陽病院　末丸（すえまる）　俊二（しゅんじ）

専門分野　循環器内科、一般内科
資格　医学博士、日本内科学会 認定医
日本循環器学会 専門医、日本医師会 認定産業医

医師を目指したきっかけは何ですか？

身内に医療関係者がいたため元々興味がありました。高校時代、元気だった祖父が急に亡くなり、とても悲しい思いをしました。死について考えるきっかけとなり、本格的に医師を目指すようになりました。

循環器内科を専門とした経緯を教えてください。

勉強していくうちに循環器内科に興味がわき、全身管理ができて、患者さんのことを最初から最後まで責任を持って診ることができる部分に魅力を感じました。

大学卒業後の経歴を教えてください。

岡山の病院に勤務したあと約20年間、愛媛と香川で過ごしました。ゆったりとした時間が流れる田舎だったのですが、仕事はとても忙しかったです。救急を担当していたので休みがあまりなく、緊急のたびに呼び出され何度も駆け付けました。趣味の時間もとれず日常のすべてを捧げていましたが、その分、充実していたので今ではいい思い出です。

当院ではどのような患者さんを診られていますか？

専門は虚血性心疾患ですが、生活習慣病（高血圧、糖尿病、高脂血症など）や循環器病（心臓病や脳血管の病気）など内科全般の診療にあたっています。

循環器病では、胸痛、動悸などの胸部症状から、息切れ、呼吸困難、むくみ、失神発作など、症状は様々です。

透析患者さんは、透析をしていると高血圧、心不全、不整脈、狭心症などの心臓疾患や脳血管疾患を併発しやすく、重症化しやすいため特に気を配っています。

診療で心掛けていることはありますか？

患者さんが来られたら、その日のうちに可能な限りの検査をし、診断をして、治療の方向性を決めることを心掛けています。少しでも早く治療に入ることができますし、患者さんの不安をいち早く取り除きたいと思っています。

患者さんにお伝えしたいことがありますか？

高齢の方や、働き盛りの方は症状を感じていても我慢しがちです。我慢をして重症になってから来られる方を何度も見てきました。かぜ、おなかの症状、胸の症状など、些細なことでもお気軽にご相談ください。

～末丸先生にプライベートなことも伺いました～

出身と学生時代の思い出を教えてください。

高校までは倉敷で過ごし、大学は大阪でした。

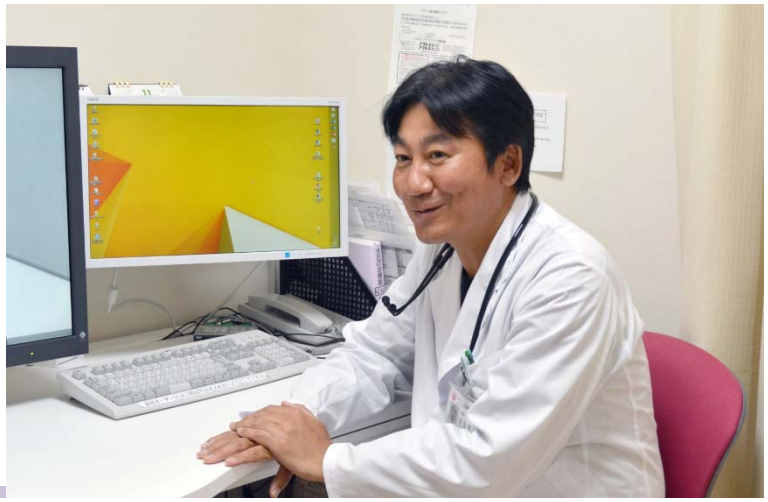
医学部といえば医者になるというイメージでしたが、同級生が「研究者になる」「法医学者になる」という志を持っていて、自分とは違う価値観に触れることができ新鮮でした。

プライベートでは、友達と一緒に少しでも安くたくさん食べられるお店を探し回り、京都へ遠征したのがいい思い出です。高校から続けたバドミントンでは、大会にも出場しました。

福山にはどのようなきっかけで来られましたか？

両親が住んでいるため、家族とともに移住しました。四国と比べて人も車も多く、都会に感じました。新幹線が駅にとまるのが珍しく感じ、よく子どもを連れて福山駅のホームまで新幹線を見に行きました。

趣味は何ですか？

狩野副院長の影響もあり、釣りにハマりました。山陽病院への赴任が決まったころ、誰よりも早く声を掛けていただき、辰川会の釣り部にスカウトされました。今では多くの職員と一緒に海へ出ています。

釣り部以外でも月に1～2回釣りを楽しんでいます。YouTubeで勉強し、今では大きな魚も捌けるようになりました。鯛のお刺身と塩焼きは特に最高ですね！穏やかな瀬戸内海を見ながらのんびり釣り糸を垂らすのは、最高のリラックスタイムです。